

会計別の決算額 (1万円未満切り捨て)

会計名	歳入	歳出
一般会計	103億8779万円	98億760万円
老人保健特別会計	2911万円	210万円
国民健康保険特別会計	34億7846万円	32億7793万円
公共下水道事業特別会計	12億3033万円	11億9331万円
中部特定土地区画整理事業特別会計	4億8335万円	4億5257万円
介護保険特別会計	13億8766万円	13億2825万円
後期高齢者医療特別会計	1億9318万円	1億9230万円
水道事業会計	収益的経費	10億1217万円
	資本的経費(注)	333万円
		7億3452万円
		2億7420万円

(注) 歳出に対して不足する額は減債積立金等で補てん

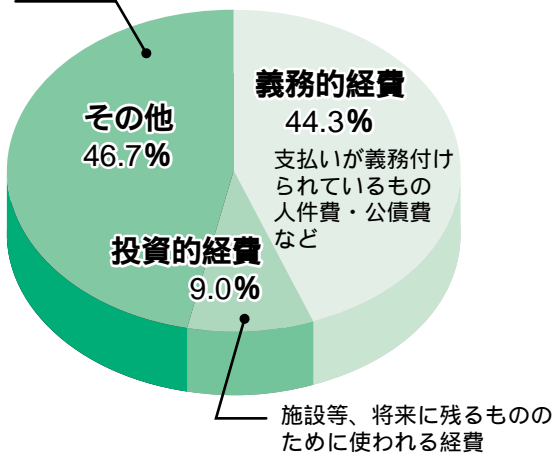
# 21年度 決算を 認定

## 一般会計決算概況

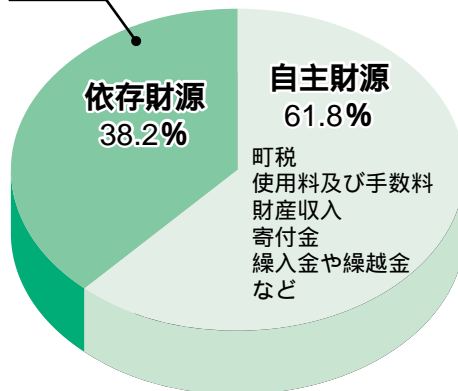
使ったお金  
98億760万4千円

入ったお金  
103億8779万6千円

物件費(委託料、需用費)  
繰出金(特別会計へ)など



地方贈与税  
地方交付税  
国・県からの補助金  
借金など



閉会中の継続審査となっていた平成21年度決算は、議長及び監査委員を除き、各常任委員会から会派を考慮し4名ずつ選出した8名で構成された、決算特別委員会(審査日10月26日・27日)で審査され、12月定例議会初日の本会議において、委員会の審査報告が行われ、質疑、討論を経て認定されました。

伊奈町議会では、議会改革に関する項目の一つとして、「一般質問に問一答及び対面方式の導入」の提案があり、改革委員会で研究。富士見市・ときがわ町を訪問。両市町とも議会運営委員会で協議することを確認。全委員から賛成の意見が出され、全議員に周知文書を配布。さらに制限時間及び実施時期について協議。時間は答弁含め60分。1年後開始。詳細をさらに協議。制限時間内での質問回数は無制限。1回目は答壇し一括質問一括答弁。2回目より質問席にて一

### 改革委員会が 一問一答対面方式及び 反問権導入について視察

視察地：富士見市・ときがわ町  
視察日：11月10日

- 問一答方式で行つ。導入の効果
- 1 傍聴者・住民にとって質疑の内容が分かる。
  - 2 執行部との活発な議論が展開され、一層の市政運営が図れる。
  - 3 質問席を対面にすることで緊張感が生まれる。
  - 4 導入により、議員の意識改革と議会の活性化が図れる。
- なお、反問権については、両市町とも議会基本条例に定めている。当町にとつて大変有意義な視察研修となりました。



富士見市の議場にて

改革委員会は、討議結果を12月14日付で議長に答申し任務を終了した。